

3f サンフレンズだより

3つの居宅介護支援センターを統合し

「サンフレンズ新高円寺支援センター」 が誕生しました

今までサンフレンズでは、デイサービス等との併設型で居宅介護支援事業を行ってきました。

しかし、より質の高いサービスの提供をめざすために単独型への移行を進めています。

その第一弾として、2010年4月1日からサンフレンズ和田支援センター・サンフレンズ松ノ木支援センター・サンフレンズ友愛支援センターが統合し、新たな事業所「サンフレンズ新高円寺支援センター」として事業を開始しました。

地域で培ってきた信頼を基に、より専門性を高め、ご利用者に質の高いサービスを提供できるように努めていきます。

No.55 2010.5.22
発行：社会福祉法人 サンフレンズ
編集：法人本部 事務局
〒167-0023
杉並区上井草3-33-10
03-3394-9833



＜職員一丸となって取り組んでいきます＞

住所：〒166-0011 東京都杉並区梅里 2-10-11
芝萬梅里マンション 312号
電話：03-5378-6780 FAX：03-5378-3737
MAIL：shinkoenji-shien@3friends.or.jp

新たな発展を目指し

「サンフレンズ訪問介護センター」 と名称を変更し、移転しました



＜チームワークと笑顔が強みです＞

「サンフレンズ友愛介護センター」は、2006年4月、社団法人友愛の灯協会から当法人へ移行し、法人内唯一の訪問介護事業を運営してきました。

この度2010年4月1日から事業所を移転し、よりご利用者の利益に繋がるサービス提供に取り組

みます。

同時に事業所名も「サンフレンズ訪問介護センター」に変更し、サンフレンズの理念と友愛の灯協会の精神を受け継ぎながら、新しい訪問介護事業所へと発展していきます。



＜気持ちも新たに頑張っています＞

住所：〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 3-7-12
ニューアド社第2ビル 301号
電話：03-5307-6786 FAX：03-5378-6787
MAIL：homon-kaigo@3friends.or.jp

役員紹介

法人の重要事項の決定は、理事会によって行われます。

サンフレンズの役員（理事・監事）は2年の任期を終え、2010年4月2日から9期目を迎えました。このたび、理事9名のうち2名の交代があり、新しい体制でスタートしています。

理事は評議員も兼任しています。役員同様に、評議員・相談役も新しい任期となりました。

理事会・評議員会は、地域やご利用者・ご家族のことを最優先に考えた上で審議に務めています。

今号では、役員（理事9名・監事1名）の法人に対する「思い」や「期待」など、ご挨拶として皆様にお届けします。

理事長

おおとも のぶかつ
大友 信勝



法人創設の理念は、民主主義、平等、人権の理念・思想に立脚しています。この理念を原点に、杉並で、市民が安心して暮らせるまちづくりに貢献するのが本法人の社会的使命です。変動する社会の中で、変えてはならない価値、「生命と尊厳」を守り抜く法人を構築します。

理事長職務代理

ふじやま くにこ
藤山 邦子



「個」を大切にすることと、「全体」を把握することに心掛けています。「個」は深く尽きることなく、「全体」は福祉に限らず政治、経済、文化等広く相互に繋がります。常に「個」の哀しみと喜びに添うとともに、広い視野からのサンフレンズの舵取りに努めます。

理事

かわ ちかこ
河 周子



介護保険施行後10年、地域には介護保険だけでは充足されない福祉のニーズが多々あり、地域の社会資源との連携や、その人に寄り添った細やかな心使いが求められています。よりよい明日のために、職員の感性を育み法人としても課題を発信していきましょう。

理事

いいた つとむ
飯田 勤



1994年の法人設立から16年、サンフレンズは500人の職員を抱える法人となりました。地域の皆様に支えられ、育てていただいたことを忘れず、今こそ「職員個々の力」と「組織力」で地域に恩返しを！サンフレンズらしいサービス提供に努めてまいります。

理事

もりやま ちかこ
森山 千賀子



「住み慣れた地域でその人らしく暮らす」、「世代や文化を超えた高齢期の豊かさの実現」に向けて、そして、地域の方々とスタッフの方々と一緒に学びあいの継続に、微力ながら力を注いでいきたいと思っております。どうぞ、宜しくお願いいたします。

理事

あさくら みえ
朝倉 美江



サンフレンズは杉並区の住民によってつくられた「住民立」の老後を良くするための拠点です。「誰もが安心して最後まで杉並で」という願いを現実のものとするため、多くの住民の方々の声が届き、人がつながり、集う場となることを心から願っています。

理事

あんどう ゆうた
安藤 雄太



地域を大切にしているミッションは、サンフレンズの母体となった杉並・老後を良くする会の地道な、そして力強いボランティア活動を支えたミッションとして当初から感銘してきたところです。理事として今後も大切にしていきたいと思います。

理事

たでら けんじ
田寺 俊治



サンフレンズ後援会設立のお手伝いをした時が、私とサンフレンズとの関わりの始めでした。その後「評議員」として、この会の活動を側面から見ておりました。最近では市民のつどいのお手伝いをしましたが、これからは理事としてお役に立てれば、と思っております。

理事

つちや としひこ
土屋 俊彦



この度理事、評議員に就任しました。平成9年6月特別養護老人ホーム上井草園が開設した時、私は相談員として75名の利用者の入所のお手伝いをしました。施設でも在宅でも、安心してその人らしい生活が継続できるように、微力ながら頑張りますので、応援宜しくお願いします。

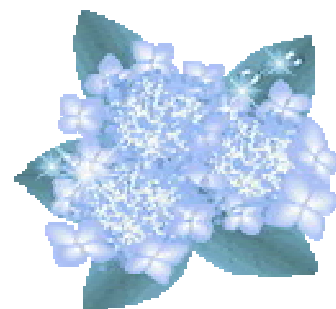
監事

やまざき かずいち
山崎 和一



施設の責任者である職員の皆さんに、特にお願いをしたい。「福祉構造改革」の押し付け—たび重なる介護保険改悪の結果、いまなお、厳しい労働環境を余儀なくされています。それだけに、職員の心身の健康管理は、最重要の職責であると思います。

専任の評議員10名・相談役2名については、次号にご紹介します。
お楽しみに！



2009年度 事業・決算報告

社会福祉法人サンフレンズの2009年度事業報告案と決算案は、5月22日に開催された評議員会を経て理事会で承認されました。

紙面の都合により、事業報告は法人全体のことを抜粋して掲載します。また、決算は収支計算書ならびに事業活動計算書と貸借対照表を掲載します。

事業報告

法人全体の事業報告

経営面での安定化については毎月、管理職会議で各事業所の経営状況がわかるように実績をだし、とりわけ2009年度は課題や問題点、改善点についても管理職が共通理解するようにしました。

2009年度は経営の安定に向けての年としたことで各事業所の具体的な取り組みがあり、決算でのプラスに繋がりました。特別養護老人ホームサンフレンズ善福寺の経営が大きな課題ですが、今後の人件費率と職員配置等具体的な数字は提示されましたので、さらに2010年度は法人の課題として取り組んでいきます。

介護報酬改定後の1年、サンフレンズ善福寺の経営の立て直しにより法人全体の経営安定が見通せます。委託契約も大幅に見直しました。

2009年度の結果をもとに、地域の福祉ニーズに応えるための新規事業の展開、予算の見直しに応じたサービスの取り組み、法人の中長期的な事業計画の具体的な立案に入ります。

人材育成については、杉並区の雇用対策のひとつである委託事業「外出支援サービス」にも取り組みました。

法人全体の現任研修も継続し、各事業所でも独自の工夫をこらした研修を設けています。法人全

体研修は職種、事業所を超えての情報交流の場でもあり、互いの刺激となっています。

国からの介護職員のみ対象の介護職員処遇改善交付金は、法人としては職種を問わず全職員に支給しました。非常勤職員からモチベーションがあがったとの声をもらっています。

その他、年度を通し新型インフルエンザの流行がありました。感染予防に法人全体で取り組み、衛生物品の確保、各事業所で感染症研修を実施し、衛生知識の普及に努めました。

1. 経営の安定化

業績管理を行ってきましたが、討議の中心となる運営会議では直面する問題・課題の解決が先行し、中長期にわたる適切な財政収支の検討と計画化に至りませんでした。専門に討議する委員会等を設置する必要があります。

(1) 業績管理と中長期にわたる適切な財政収支の検討と計画化

先に記したように、毎月の法人全体の業績管理を行ってきましたが、各事業所の目標率達成のための努力があり、決算収支差額のプラスを生みました。特別養護老人ホームサンフレンズ善福寺のみ大幅な赤字のため、要因となる派遣職員/人件費を年度内に計画的に減員していきました。適正な人件費率と利用率にて運営を安定させていきます。

(2) 各事業所の目標利用率の設定と業績管理

毎月の業績管理の他、半期が終わった時点で、管理職会議にて各事業所の実績の現状と運営課題を検討しました。目標率達成の方法等、他事業所に学ぶことも多く、また各事業所の運営課題を理解する機会となりました。支出面では光熱水費をはじめとした維持管理費を事業所毎に出し、経費節減に取り組みました。効果・評価を含め2010年度も更に進めます。

2. 人材育成

第2回目となる「市民のつどい」は第1回目以上の参加人数を得ました。サンフレンズと家族、地域住民とで杉並の介護、福祉を考える機会となっています。

人材育成計画は作成までに及ばず、2010年度に引き継ぎます。利用者、家族、地域が求める福祉ニーズに応じていくサンフレンズの目的をもとに、より具体的なサンフレンズが求める職員像を明確にした人材育成計画を打ち出していきます。

(1) 認知症ケアの研修

各事業所での外部・内部研修は実施していますが、法人全体の研修・育成の考えを取りまとめていくリーダーシップに欠け、2010年度の優先課題とします。

(2) 事業所内研修

各事業所の独自性もだし、意識的、計画的に取り組んでいます。

(3) メンタルヘルス研修と相談体制

2009年度は管理職と監督職を中心に実施しました。職員のメンタル面の不調に早目の相談や対処ができています。2010年度は対象を一般・非常勤職員に広げていきます。

(4) 人材育成計画の作成

各職種の専門性を高める研修、資格取得のための勉強会の機会を増やしました。地域住民との勉強会や採用計画を含めた総合的人材育成計画は2010年度に専門委員会として立ち上げる予定です。

3. 地域との協働

ボランティアコーディネーターを中心にボランティア同士のネットワークが広がっています。こ

のネットワークがサンフレンズを支えています。新しい地域の協働事業等に参加していただけるよう、働きかけていきます。

(1) ボランティア受け入れ態勢の強化

他施設の施設長による「ボランティアの受け入れ」についての研修をボランティアも対象に実施しました。コーディネーターを中心に法人全体が活発にボランティアとの協働の仕組みを整えている事例は大変参考になり、2010年度継続し検討します。

(2) 後援会との連携

後援会との共催で“介護保険制度の検証”をテーマに「市民のつどい」を開催しました。学習会は「住民主体の町づくり」として、ケアタウン鷹巣の実践例とサンフレンズの歩みを重ね、話し合いました。

(3) 広報活動の活性化

ホームページは随時、更新するシステムが確立しています。サンフレンズに応募する方はホームページを参考にしますので、人材募集の欄をリニューアルしました。広く地域の方が見たくなる情報満載のホームページに徐々にしていくために、単年度の目標を設定していきます。



2009年度 決算報告

収支計算書

(自平成21年4月1日

(至平成22年3月31日

法人名 社会福祉法人 サンフレンズ

(単位:円)

科目	予算	決算	差異
経常活動による収支			
経常活動による収支(収入)			
介護福祉施設介護料収入	358,735,000	358,015,195	719,805
居宅介護料収入 (介護報酬収入)	704,837,000	700,344,488	4,492,512
(利用者負担金収入)	633,906,000	629,762,971	4,143,029
居宅介護支援介護料収入	70,931,000	70,581,517	349,483
利用者等利用料収入	74,978,000	75,490,657	△ 512,657
その他の事業収入	178,840,000	179,609,982	△ 769,982
寄付金収入	159,026,000	160,282,741	△ 1,256,741
借入金利息補助金収入	2,576,000	2,920,905	△ 344,905
受取利息配当金収入	2,592,000	2,592,000	0
事業外収入	773,000	1,232,179	△ 459,179
雑収入	8,234,000	8,330,437	△ 96,437
経常活動収入計(1)	1,024,000	3,752,261	△ 2,728,261
経常活動による収支(支出)	1,491,615,000	1,492,570,845	△ 955,845
人件費支出	952,328,000	960,484,763	△ 8,156,763
経費支出 (直接介護支出)	483,264,000	478,096,934	5,167,066
(一般管理支出)	205,854,000	202,301,540	3,552,460
利用者負担軽減額	277,410,000	275,795,394	1,614,606
徴収不能額	796,000	583,768	212,232
借入金利息支出	0	35,258	△ 35,258
事業外支出	8,591,000	8,517,785	73,215
雑支出	4,540,000	4,629,633	△ 89,633
経常活動支出計(2)	0	0	0
経常活動資金収支差額(3=1-2)	1,449,519,000	1,452,348,141	△ 2,829,141
施設整備等による収支	42,096,000	40,222,704	1,873,296
施設整備等による収支(収入)			
設備資金借入金収入	0	0	0
施設整備等補助金収入	0	0	0
施設整備等寄付金収入	0	0	0
固定資産売却収入	0	0	0
施設整備等収入計(4)	0	0	0
施設整備等による収支(支出)			
固定資産取得支出	11,634,000	3,871,905	7,762,095
施設整備等支出計(5)	11,634,000	3,871,905	7,762,095
施設整備等資金収支差額(6=4-5)	△ 11,634,000	△ 3,871,905	△ 7,762,095
財務活動による収支			
財務活動による収支(収入)			
長期運営資金借入金収入	0	0	0
投資有価証券売却収入	0	0	0
設備資金借入金元金償還補助金収入	3,578,000	3,578,000	0
設備資金借入金元金償還寄付金収入	0	0	0
長期運営資金借入金元金償還寄付金収入	0	0	0
積立預金取崩収入	0	0	0
他会計区分繰入金収入	0	0	0
会計区分外繰入金収入	0	0	0
その他の収入	3,336,000	3,336,280	△ 280
財務活動等収入(7)	6,914,000	6,914,280	△ 280
財務活動による収支(支出)			
設備資金借入金元金償還金支出	23,710,000	23,710,000	0
長期運営資金借入金元金償還金支出	0	0	0
投資有価証券取得支出	0	0	0
積立預金支出	0	0	0
他会計区分繰入金支出	0	0	0
会計区分外繰入金支出	0	0	0
その他の支出	6,547,000	9,551,382	△ 3,004,382
財務活動等支出(8)	30,257,000	33,261,382	△ 3,004,382
財務活動資金収支差額(9=7-8)	△ 23,343,000	△ 26,347,102	3,004,102
予備費(10)	2,704,000	0	2,704,000
当期資金収支差額合計(11=3+6+9-10)	4,415,000	10,003,697	△ 5,588,697
前期末支払資金残高(12)	603,737,726	603,737,726	0
当期末支払資金残高(13=11+12)	608,152,726	613,741,423	△ 5,588,697

事業活動計算書

(自平成21年4月1日

(至平成22年3月31日

法人名 社会福祉法人 サンフレンズ

(単位:円)

科目	前年度	当年度	増減
事業活動収支の部			
事業活動収支の部(収入)			
介護福祉施設介護料収入	352,167,856	358,015,195	5,847,339
居宅介護料収入 (介護報酬収入)	660,287,170	700,344,488	40,057,318
(利用者負担金収入)	593,716,106	629,762,971	36,046,865
居宅介護支援介護料収入	66,571,064	70,581,517	4,010,453
利用者等利用料収入	68,845,281	75,490,657	6,645,376
その他の事業収入	172,605,744	179,609,982	7,004,238
その他の収入	140,319,834	160,282,741	19,962,907
国庫補助金等特別積立金取崩額	46,060	124,060	78,000
事業活動収入計(1)	13,624,650	13,445,901	△ 178,749
事業活動収入計(1)	1,407,896,595	1,487,313,024	79,416,429
事業活動収支の部(支出)			
人件費	850,940,738	924,148,493	73,207,755
経費 (直接介護費)	539,390,120	478,096,934	△ 61,293,186
(一般管理費)	208,121,156	202,301,540	△ 5,819,616
利用者負担軽減額	331,268,964	275,795,394	△ 55,473,570
減価償却費	354,961	583,768	228,807
徴収不能額	45,676,341	44,062,706	△ 1,613,635
引当金繰入	7,920	34,407	26,487
事業活動支出計(2)	34,899,793	35,105,262	205,469
事業活動収支差額(3=1-2)	1,471,269,873	1,482,031,570	10,761,697
事業活動収支差額(3=1-2)	△ 63,373,278	5,281,454	68,654,732
事業活動外収支の部			
事業活動外収支の部(収入)			
借入金利息補助金収入	2,736,000	2,592,000	△ 144,000
受取利息配当金	1,264,321	1,232,179	△ 32,142
有価証券売却益	0	0	0
寄付金収入	2,003,679	2,920,905	917,226
その他の事業活動外収入	8,451,194	8,330,437	△ 120,757
雑収入	1,234,006	1,437,721	203,715
事業活動外収入計(4)	15,689,200	16,513,242	824,042
事業活動外収支の部(支出)			
借入金利息	9,674,417	8,517,785	△ 1,156,632
有価証券売却損	0	0	0
資産評価損	0	0	0
その他の事業活動外支出	5,048,782	4,629,633	△ 419,149
雑損失	170,000	0	△ 170,000
事業活動外支出計(5)	14,893,199	13,147,418	△ 1,745,781
事業活動外収支差額(6=4-5)	796,001	3,365,824	2,569,823
経常収支差額(7=3+6)	△ 62,577,277	8,647,278	71,224,555
特別収支の部			
特別収支の部(収入)			
施設整備等補助金収入	3,596,000	3,578,000	△ 18,000
施設整備等寄付金収入	0	0	0
固定資産受贈額	0	0	0
固定資産売却益	262,318	0	△ 262,318
国庫補助金等特別積立金取崩額	0	0	0
他会計区分繰入金収入	0	0	0
会計区分外繰入金収入	0	0	0
その他の特別収入	157,345	2,362,266	2,204,921
特別収入計(8)	4,015,663	5,940,266	1,924,603
特別収支の部(支出)			
基本金組入額	0	0	0
国庫補助金等特別積立金繰入額	3,596,000	3,578,000	△ 18,000
固定資産除売却損	125,422	73,016	△ 52,406
他会計区分繰入金支出	0	0	0
会計区分外繰入金支出	0	0	0
その他の特別損失	0	9,071,982	9,071,982
特別支出計(9)	3,721,422	12,722,998	9,001,576
特別収支差額(10=8-9)	294,241	△ 6,782,732	△ 7,076,973
当期活動収支差額(11=7+10)	△ 62,283,036	1,864,546	64,147,582
前期末繰越活動収支差額(12)	807,611,142	745,328,106	△ 62,283,036
次期繰越活動収支差額(17=11+12+13+14+15+16)	745,328,106	747,192,652	1,864,546

貸借対照表

平成22年 3月31日現在

(単位: 円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
勘 定 科 目	前年度末	当年度末	増 減	勘 定 科 目	前年度末	当年度末	増 減
流 動 資 産	(688,582,460)	(697,547,491)	(8,965,031)	流 動 負 債	(112,017,438)	(111,375,127)	(△642,311)
現金預金	479,734,179	471,263,743	△8,470,436	短期運営資金借入金			
有価証券		56,550	56,550	未払金	82,089,194	78,976,390	△3,112,804
未収金	205,752,202	223,280,831	17,528,629	施設整備等未払金	214,200		△214,200
未収補助金	208,739	305,412	96,673	預り金	3,773,044	5,558,737	1,785,693
貯蔵品				前受金			
立替金	255,990	227,331	△28,659	他会計区分借入金			
前払金	2,556,350	2,300,984	△255,366	会計区分外借入金			
他会計区分貸付金				仮受金			
会計区分外貸付金				賞与引当金	25,941,000	26,840,000	899,000
仮払金				その他の流動負債			
その他の流動資産	75,000	112,640	37,640	固定負債			
固 定 資 産	(1,413,354,752)	(1,377,451,765)	(△35,902,987)	固 定 負 債	(455,718,110)	(437,425,820)	(△18,292,290)
基 本 財 産	(1,245,073,910)	(1,223,723,077)	(△21,350,833)	設備資金借入金	420,740,000	397,030,000	△23,710,000
土地	794,988,600	794,988,600		長期運営資金借入金			
建物	435,085,310	413,734,477	△21,350,833	他会計区分長期借入金			
基本財産特定預金	15,000,000	15,000,000		長期預り金			
				退職給与引当金	34,978,110	40,395,820	5,417,710
				その他の固定負債			
その他の固定資産	(168,280,842)	(153,728,688)	(△14,552,154)	負 債 の 部 合 計	567,735,548	548,800,947	△18,934,601
土地				純 資 産 の 部			
建物	7,415,589	6,853,244	△562,345	基本金	(15,000,000)	(15,000,000)	()
構築物	16,916,915	15,685,526	△1,231,389	国庫補助金等特別積立金	(723,960,558)	(714,092,657)	(△9,867,901)
機械及び装置				その他の積立金	(49,913,000)	(49,913,000)	()
車両運搬具	28,537,903	15,252,136	△13,285,767	移行時特別積立金			
器具及び備品	27,018,054	21,273,848	△5,744,206	その他の積立金	49,913,000	49,913,000	
建設仮勘定				次期繰越活動収支差額	(745,328,106)	(747,192,652)	(1,864,546)
権利	358,400	358,400		次期繰越活動収支差額	745,328,106	747,192,652	1,864,546
投資有価証券				(うち当期活動収支差額)	(△62,283,036)	(1,864,546)	(64,147,582)
他会計区分長期貸付金							
移行時特別積立預金				純資産の部合計	1,534,201,664	1,526,198,309	△8,003,355
移行時減価償却特別積立預金				負債・純資産合計	2,101,937,212	2,074,999,256	△26,937,956
その他の積立資産	49,913,000	49,913,000					
その他の積立預金							
その他の固定資産	38,120,981	44,392,534	6,271,553				
資 産 の 部 合 計	2,101,937,212	2,074,999,256	△26,937,956				

脚注

	前年度末	当年度末
1 減価償却費の累計額	152,587,498 円	184,384,896 円
2 徴収不能引当金の額	1,231,704 円	729,059 円
3 移行時特別積立金の積立不足額		

2009年度事業報告書・決算書の全文は、サンフレンズ上井草、和田・和泉・松ノ木・永福ふれあいの家、サンフレンズ訪問介護センター、サンフレンズ新高円寺支援センター、ケア24善福寺、サンフレンズ善福寺に備えてあります。いつでも自由に閲覧していただけます。

法人への寄付金および物品等を賜り、厚く御礼を申し上げます。

2010年3月1日から4月30日までにご寄付をいただいた順に掲載しております。
《寄付金》 森山千賀子様・サンフレンズ後援会様・村野井正弥様・匿名希望4名

《物品等》 小川順様・小林一夫様・村野井正弥様・林部真理子様・廣部政友様・匿名希望16名

ボランティア紹介

第41回

蓄音機の懐かしい音にのせて



＜多彩な趣味をお持ちの村松啓三郎さん＞

今回は、日頃和田ふれあいの家で送迎運転手として勤務しつつ、蓄音機コンサートを開いてくれる村松啓三郎さんをご紹介します。

村松さんは蓄音機以外にも写真撮影やドライブ、俳句・短歌など幅広い趣味を持っています。

例えば、趣味のひとつである写真撮影では、四季折々の素敵な写真を持ってきてくれます。時には、ご自身で詠んだ俳句や短歌を寄せた写真を頂くこともあります。写真の腕前は、杉並区芸術祭写真コンテストで杉並区長賞を取るほどで、作品展を開くこともあるそうです。村松さんの写真は、和田ふれあいのかの玄関や食堂に彩りを添え、ご利用者や職員の癒しとなっています。

そして、特筆すべきは「古きよきもの」を収集するという趣味。村松さんのコレクションの中には2台の蓄音機があり、これを使ったコンサートを開いてくれます。

昭和10～30年前後に流行した『青い山脈』や『リングの唄』、『旅の夜風』などのレコードが蓄音機に掛けられると、ご利用者からは「懐かしいわ…」という声漏れ、皆うっとり音に聴き入ります。

また、映画での活弁士の声が入ったレコードを、

解説を加えながら掛けてくれることもあります。

村松さんに蓄音機に懸ける想いを伺ったところ、「蓄音機をまわすことで、誰にでも頭の中のどこかに残っている昭和10～30年代の記憶を、私自身もそうですが聴いてくださるご利用者にも思い起こして欲しいのです。」とお話しされました。

今ではめったに見ることのできない蓄音機から流れる、CDにはないレコード特有のやわらかく温かい音が、昭和の風景を思い起こしてくれます。



＜懐かしい蓄音機のメロディ＞

サンフレンズだより・ホームページへのご意見・ご感想をお寄せください

本部事務局 電話 : 03(3394)9833

FAX : 03(3394)9834

担当 : 中山・眞田・河野

ホームページアドレス <http://www.3friends.or.jp>

E-mail アドレス kamiigusa@3friends.or.jp

サンフレンズだよりの担当者が代わります！

次回より担当者が水之江・眞田になります。

頑張りますので今後ともよろしくお祈りします。

※写真は左から順に、河野・眞田・中山・水之江

